

英語活動学習指導案

第3学年

【単元】 This is for you. ～がんばっているきみにありがとう～

考察	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
育成を目指す資質能力	<ul style="list-style-type: none"> ・友達とThank youカードに欲しいイラストを伝え合う際に用いる英語表現の音声やリズムについての気付きや慣れ親しみ 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達が喜ぶThank youカードを作るために、英語表現の選択・組合せをし、英語を用いて相手の好みを尋ねたり、相手に自分の好みを伝えたりする力 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達が喜ぶThank youカードを作るために、英語を用いて相手に伝わるように工夫しながら、相手の好きな物を尋ねたり、自分の好きな物を伝えたりしようとする態度
子どもの実態	<ul style="list-style-type: none"> ・相手の好きな物を尋ねる際に用いる”Do you like ~?””What ~ do you like?”の英語表現に慣れ親しんできている。 ・動物や果物等の身の回りの物を表す英語表現と日本語の音声には違いがあることを知っているが、区別して発音している子どもは少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・”Do you like ~?””What ~ do you like?”の英語表現と動物や果物等の英語表現の選択・組合せをし、好きな物について尋ねられるようになってきている。 ・相手の好きな物を詳しく知ろうと、相手の返答に応じて、”Do you like ~?””What ~ do you like ~?”の英語表現の選択をして質問できる児童は少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・英語を用いて、相手に伝わるように工夫しながら、好きな物を伝えたり、相手の好きな物を尋ねたりしようとしてきている。 ・相手のことをより知りたいという思いが足りず、質問できたことに満足して、さらに相手のことを知るために尋ねようとしていない。
価値	<ul style="list-style-type: none"> ・2学期に行われた妙義オリエンテーリングを通して、子どもは友達と協力して行動する経験をしてきた。普段の学校生活では見られない友達のよさに気付いたり、友達のがんばりに感謝したりしている子どももいる。しかし、子どもは妙義オリエンテーリングの振り返りシートに友達のよさやがんばりを記述することはあっても、直接友達に伝える機会はなかった。そこで本単元では、友達が喜ぶThank youカードを作り、英語で感謝の気持ちを伝える活動を設定する。友達が喜ぶThank youカードを作ることにより、友達がほしいイラストとその色や数、大きさを知る必要があり、友達とコミュニケーションを図ることを楽しみながら、互いのことを分かり合いたいという思いを高めることができる。 ・Thank youカードに、動物や果物等の身の回りの物のイラストを取り入れることにより、英語表現と日本語の音声やリズムを区別して発音できる。 ・ALTによるモデル動画を視聴したり、繰り返し相手と好みについて伝え合ったりすることは、”What do you want?”や”What ~ do you like?”等の英語表現を繰り返し用いることになり、慣れ親しむことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・欲しいイラストを伝え合うことにより、”What do you want?””I want ~.”等の英語表現や身の回りにある物の英語表現の選択・組合せをして伝え合える。 ・友達が喜ぶThank youカードを作っていることは、友達が欲しいイラストを知る必要があるため、英語表現の選択・組合せをして、色や数、大きさを複数回尋ねることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・妙義オリエンテーリングを一緒にがんばった友達が喜ぶThank youカードを作ったことにより、Thank youカードに欲しいイラストを伝え合おうとする思いが高まる。 ・妙義オリエンテーリングを振り返り、一緒にがんばった友達にThank youカードを送ることにより、友達に感謝の気持ちを伝えたいという思いをもって学習に取り組むことができる。
見方・考え方	<p>英語やその背景にある文化を捉え、Thank youカードを作って送るというコミュニケーションを図る目的や、欲しいイラストを伝え合う場面、状況及び相手の反応に応じて、英語表現や伝え方の選択・組合せをすること。</p>		
今後の学習	<p>4年「好きな曜日は何曜日？」において、”What day do you like?””I like ~ because ~.”等の英語表現を用いて、好きな曜日とその理由を尋ねたり答えたりして、互いのことをさらに分かり合う学習へと発展していく。</p>		

指導と評価の計画

目標	妙義オリエンテーリングで一緒にがんばった友達にThank you カードを作って送るために、相手に伝わるように工夫をしながら、欲しいイラストを伝え合う。			
評価 規準	(①知・技) 動物や果物等の身の回りの物を表す英語表現の音声と外来語の音声やリズムの相違点に気付いている。 (②思・判・表) 欲しいイラストと、その色や数、大きさを尋ねたり、答えたりしている。 (③主体的態度) 友達やALTに伝わるように工夫しながら、英語を用いて友達が欲しいイラストを尋ねたり答えたりしようとしている。			
言語 材料	What do you want? ~ please. What color do you like? How many? Big or small? This is for you. Thank you. You're welcome. red / blue / green / yellow / pink / purple / white / black star / heart / diamond / triangle / dog / cat / lion / gorilla / hamster / beetle / butterfly / dolphin snake / grasshopper soccer ball / baseball / rugby ball / tennis racket / table tennis racket apple / orange / strawberry / watermelon / grapes			
過程	時間	学習活動	指導上の留意点	
つか か む	1	○JTEがALTにThank youカードを作って送るモデルを見聞きし、試しの活動に取り組み、単元の課題(Unit Goal)をつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> Unit Goal 妙義オリエンテーリングで一緒にがんばった友達が喜ぶThank youカードを作って送ろう </div>	○友達が喜ぶThank youカードを作って送るために、英語を用いて、友達と欲しいイラストについて伝え合うことに必要感をもてるように、友達と欲しいイラストについて伝え合う試しの活動をする機会を設定する。	◇友達が喜ぶThank youカードを作って送るために、友達に聞きたいことやできるようになりたいこと、伝えたいことについて、発言したり記述したりしている。 <発言・Tryシート③>
	追究 す る	1 ○"What do you want? ""I want ~".の英語表現を用いて、友達の欲しいイラストを尋ねたり答えたりする。 1 ○"What color? ""How many? ""Big or small?"等の英語表現を用いて、友達が欲しいイラストの色や数、大きさについて尋ねたり答えたりする。(本時) 1 ○"What do you want? ""What color? ""How many? ""Big or small?"等の英語表現を用いて、Thank youカードを作って送りたい友達の欲しいイラストとその色や数、大きさについて調査する。	○動物や果物等の身の回りの物を表す日本語と英語の音声の相違点に気付けるように、日本語と英語の音声を交互に聞き、比較する機会を設定する。 ○色や数、大きさを尋ねる英語表現を用いて友達の好みを知ることができるよう、グループや学級全体で分からない英語表現を相談する機会や、タブレットを用いてモデル動画を視聴する機会を設定する。 ○英語表現の選択・組合せができるように、欲しいイラストとその色や数、大きさを尋ねたり答えたりする際に用いる英語表現を提示する。	◇欲しいイラストの英語表現を英語の音声で発音している。 <行動①> ◇英語表現の選択・組合せをし、友達が欲しいイラストの色や数、大きさについて尋ねたり答えたりしている。 <行動②> ◇英語表現の選択・組合せをし、友達が欲しいイラストとその色や数、大きさを尋ねたり答えたりしている。 <行動①②③>
ま と め る	1	○Thank youカードを作って友達に送る。	○カードを渡す際の英語表現に自信をもてるように、ALTとJTEのカードを渡すモデルの後にALTの後に続いて発音する機会を設定する。	◇相手の目を見ながら、聞き取りやすい声の大きさと英語表現を用いて友達にカードを送っている。 <行動③>

本時の学習（3 / 5 時間目）

ねらい グループや学級全体で分からない英語表現を相談し、相手を替えて繰り返し伝え合うことを通して、Thank you カードに欲しいイラストの色や数、大きさについて、尋ねたり答えたりすることができる。

評価項目 英語表現の選択・組合せをし、友達が欲しいイラストの色や数、大きさについて尋ねたり答えたりしている。 <行動②>

学習活動と子どもの意識	指導上の留意点
<p>1 本時のめあてをつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Thank you カードに欲しいイラストを尋ねる時は "What do you want?" を使って尋ねるのだったな。 ・ 友達が喜ぶ Thank you カードを作るために、欲しいイラストについて友達の好みを詳しく知りたいな。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 友達が喜ぶ Thank you カードを作るために、友達が欲しいイラストの色や数、大きさを尋ねて、友達の好みを知りたいな。 (目的意識) </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>めあて：友達が喜ぶ Thank you カードを作れるように、イラストの色や数、大きさを尋ねたり答えたりして友達の好みを知ろう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本時までに学習した "What do you want?" や "I want ~." のイラストを表す英語表現の音声を想起できるように、ペアで、欲しいイラストを尋ねたり答えたりするよう促す。 ○ 友達が喜ぶ Thank you カードにしたいという思いが高まるように、イラストの色や数、大きさを工夫した Thank you カードを提示し、友達が喜ぶ Thank you カードにするために、さらに必要なことを問いかける。 ○ 友達が欲しいイラストの色や数、大きさを知るという目的意識をもてるように、JTE が ALT に、Thank you カードに欲しい形やイラストの色や数、大きさを尋ねるモデルを演示し、やりとりの内容を問いかける。
<p>2 欲しいイラストの色や数、大きさを尋ねたり答えたりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 友達は「犬のイラストが欲しい」と言っていたな。何色で、どんな大きさのイラストが、何個欲しいのだろう。聞いてみたいな。 ・ 犬のイラストの色は "What color?" と尋ねて "White." と答えてもらえたぞ。でも、イラストの大きさや数の尋ね方が分からなくて、尋ねることができなかつたな。英語で何と尋ねればいいのかのだろう。 ・ 大きさと数の尋ね方を友達に聞いてみたいな。 ・ グループの友達から、"Big or small?" と使うと、大きさを質問することができるぞと教えてもらえたぞ。でも数の質問の仕方はグループの友達も分からなかつたな。他のグループの友達は分かるかな。 ・ "How many?" を使って犬のイラストの数が尋ねられそうだ。早く友達に尋ねてみたいな。 ・ "How many?" を使って友達に尋ねたら、"One." と答えてくれたぞ。猫の色や数、大きさも知りたいから、尋ねてみよう。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ イラストの色や数、大きさを尋ねて、友達の好みを知ることができたぞ。 (目的を達成した意識) </div> <p>3 本時の学習の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 次も、友達の喜ぶ Thank you カードを作れるように、友達が欲しい形やイラストと色や数、大きさを、声の大きさに気をつけてアイコンタクトをしながら話したいな。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 友達が喜ぶ Thank you カードを作って送ることができるように、イラストの色や数、大きさについて尋ねる必要があることを問いかける。 ○ 英語表現を用いてイラストの色や数、大きさについて尋ねたり答えたりできる見通しをもてるように、自分に必要な英語表現や現在うまく表現できない内容について問いかける。 ○ 色や数、大きさを質問したり答えたりする際に用いる英語表現に気付けるように、グループで英語表現を相談する機会を設定し、互いに助言し合うよう促す。 ○ グループで相談しても分からない英語表現に気付けるように、グループでの相談後に、分からない英語表現を学級全体で共有し、その英語表現について問いかける。 ○ グループや学級全体で考えた英語表現を用いて、色や数、大きさを質問したり答えたりする見通しをもてるように、JTE が ALT に色や数、大きさを尋ねる機会を設定し、話の内容を問いかける。 ○ 英語を用いて、色や数、大きさの好みを知ることができたことを実感できるように、グループや学級全体での話合いを参考に、友達の好きなイラストの色や数、大きさを再度、質問したり答えたりするよう促す。 ○ 友達に色や数、大きさを尋ねる英語表現に自信をもてるように、グループでの話合いやモデル動画を参考にし、伝え合っている子どもを称賛する。 ○ 次時の学習への意欲を高められるように、Try シートの「もっと自分に必要なこと」について学級全体で共有し、次時の課題について問いかける。